

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホームふくい

(ユニット名) さくら

記入者(管理者)
氏名 田邊 朋子

評価完了日 平成 20 年 1 月 15 日

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年3月13日

【評価実施概要】

事業所番号	3870103805		
法人名	医療法人 福井整形外科・麻酔科		
事業所名	グループホームふくい		
所在地	松山市高井町795-1 (電話) 089-975-7611		
管理者	田邊 朋子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5 - 1 9 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成20年2月6日	評価確定日	平成20年3月13日

【情報提供票より】 (平成20年1月23日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成16年2月21日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	19 人	常勤	16人, 非常勤 3人, 常勤換算 16.9人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)利用状況により異なる	
敷 金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		
(3)利用者の概要 (平成20年1月23日現在)			
利用者人数	16 名	男性 6 名	女性 10 名
要介護1	5 名	要介護2	5 名
要介護3	2 名	要介護4	2 名
要介護5	2 名	要支援2	0 名
年齢	平均 81.7 歳	最低 56 歳	最高 101 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

職員は、利用者のお話にじっくりと耳を傾け、言葉を記録される等、思いを汲み取るよう努力されている。又、意思表示がむづかしいような場合は、職員が、ご本人についての気付きを出し合い、ご家族にも相談しながら把握に努めておられる。
 買い物、リハビリ、病院受診時の同行やご家族の結婚式出席時の送迎をされている。又、温泉のお好きな方が、家族風呂を楽しまれる際にも、職員が同行されている。
 毎日入浴される方や外出の前に必ず入浴される方、家族風呂に出かける方もおられる。入浴を嫌がられる方には、タイミングをみながら声かけを工夫されたり準備をされている。

【質向上への取組状況】

<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会の清掃活動に利用者とともに参加をされた。利用者のご希望もあり、ご本人が日々節約して野球観戦に出かけることを支援された。
<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全職員で自己評価に取り組み、管理者がまとめられた。自己評価を実施し、評価項目について職員同士で確認し合うことができ、日頃のケアの見直しや利用者個人の尊重等、利用者のことをさらに知るためのよいきっかけとなったと話しておられた。
<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所の様子をうかがえる時間帯に、会議を開催できないかという意見が出されたり、町内の自主防災訓練を地域内の介護施設持ち回りで実施してはどうかという意見等もいただき、検討をされている。
<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院受診時にご家族に報告をされたり、運営推進議事録やふくい便り等には、利用者の様子の他、職員のことについても伝えておられる。
<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会に加入され、地域の行事には利用者とともに参加されている。中学生の職場体験の受け入れも始められ、今後も継続していく予定となっている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			1. 受容と共感に努め、ストレス・不安のない穏やかな生活の実現 2. 個々に対する信頼関係を築く 3. 居心地のいい生活環境の実現 4. 役割の発揮で自信の回復と笑顔ある生活の実現 5. 言葉の重要性を理解し、安心感のある精神世界を保つ援助をする		理念を振り返り再検討、見直しをしていきたい。
			(外部評価)		
			事業所では、利用者主体の暮らしを支えていくための理念を作っておられる。		地域密着型サービスと位置づけられているグループホームが、地域の中でどのようなことを目指していくのかということについて、この機会に話し合われてみてはどうだろうか。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			月1回のミーティングで理念を再確認するようにしている。日々、理念を胸に取り組みようとしているが、忙しさにまぎれて業務的になっているところもある。		日々の取り組みをもっと理念実現に向けて取り組む必要がある。具体的にどんな取り組みをしていけるか、みんなで決めていきたい。
			(外部評価)		
			管理者は、理念に沿った支援が行われているかということについて、意識して取り組んでおられる。事業所の理念を職員の目に止まりやすい場所に掲示されたり、毎月行なわれるミーティング時、職員で理念の実践について確認をされている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			玄関や各ユニットに掲示、入所時、運営推進会議などで理念を伝えているが、浸透できているかどうかは難しい。		パンフレットへの記載を検討したい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 日々の散歩の中で挨拶をしたり、近くの商店へ買物に行ったりしている。出会う頻度の高い方々との顔なじみは出来ていると思う。		畑で取れた野菜をいただいたり、ホームで出来た花などを持っていったりしている。もっといい関係作りをしていきたい。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 自治会に参加し、年間行事(町内清掃、祭、消防訓練など)参加している。 (外部評価) 自治会に加入され、地域の行事には利用者とともに参加されている。中学生の職場体験の受け入れも始められ、今後も継続していく予定となっている。		ホームへも足を運んで貰えるよう、ホームをオープンにする機会を多く持ち、もっと交流できるようにしていきたい。 事業所では、運営推進会議の機会を捉え、地域の方達との関係性を深めていきたいと考えておられる。さらに、事業所に気軽に立ち寄っていただけるよう、工夫を重ねていきたいと考えておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) まだ、地域貢献を考えるに至っていない。		地域の方も参加できるような勉強会の開催。合同での防災訓練の計画の実行。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価の大切さを十分に理解し、評価されたことに対しても向上心を持って、事業計画を作成し、ミーティングなどで話し合い、具体的に少しずつ改善していけるように取り組んでいる。 (外部評価) 全職員で自己評価に取り組み、管理者がまとめられた。自己評価を実施し、評価項目について職員同士で確認し合うことができ、日頃のケアの見直しや利用者個人の尊重等、利用者のことをさらに知るためのよいきっかけとなったと話しておられた。		今後の事業計画の見直しと検討をしていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			会議の内容は、日々悩んでいるケアのあり方やホームの目指すべきところなどを中心に話し合いを行ってきて、それぞれが思うところを話し合い、勇気付けられる内容があり、サービスの向上になっていると思う。		固定されたスタッフが参加するようになってしまっているため、もっと多くのいろんなスタッフが参加できるようにしていきたい。
			(外部評価)		
			事業所の様子をうかがえる時間帯に、会議を開催できないかという意見が出されたり、町内の自主防災訓練を地域内の介護施設持ち回りで実施してはどうかという意見等もいただき、検討をされている。		さらに、会議のメンバーや議題、時間帯等、工夫を重ね、いろいろな方に出席していただけるような取り組みが期待される。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			機会は少ないが、何かあれば相談できる姿勢、関係性を持っている。		もっと行き来できる機会を持ちたい。
			(外部評価)		
			市の生活保護課の担当者との行き来があり、利用者の生活について等、相談されている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			講習への参加や勉強会を行うことで、職員全体が大まかな制度への理解を持っている。必要な方への支援もできており活用している。		1年に1回は、振り返りの為の勉強会を行いたい。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			虐待とは何かという問いかけを持って勉強会などを行い、職員全体が利用者の思いを最大限に尊重し、特に言葉の虐待に十分気をつけるよう日々のケアに努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 専門用語は出来るだけ避け、利用者、家族に分かりやすいように説明を行うようにしている。時には事例を上げて家族や利用者の思いを聞くようにしている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 日々利用者とコミュニケーションを取る中で意見を反映させている。不満や苦情は言いにくいと思うが、表情などを察し、聞き取れるように話をする機会を作っている。		もっと利用者の意見が反映できるように、どんどん思いを引き出していきたい。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 月に1度、日々の様子を手紙により報告している。利用者に何かあった時はすぐに連絡を取り合うようにしている。2ヶ月に一度、ふくい便りの作成により写真を掲載し、文章だけではない暮らしの報告をしている。		
			(外部評価) 病院受診時にご家族に報告をされたり、運営推進議事録やふくい便り等には、利用者の様子の他、職員のことについても伝えておられる。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情は出てきにくい。して欲しいことや、出来ていないことなどの不満は時折聞き出せており、その都度改善するようにしている。		苦情を言える関係作りをもっとしていきたい。
			(外部評価) ご家族等の訪問時や電話等で要望を聞いておられる。		今後、運営推進会議等へもご家族の出席を促し、ご家族の立場からのご意見をいただけるよう、働きかけていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月1回のミーティング、日々日常的に職員の意見を聞いて、何事においても職員全体の意見で決めていくようにしている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者の心身状態や状況にあわせて、スタッフが協力し合い、柔軟に対応できるようにしている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動は現在行っておらず、離職も必要最小限に抑えるよう、スタッフへの配慮に努めている。		
			(外部評価) 現在、職員の離職は少なく、職員と利用者は、馴染みの関係となっている。法人内で異動された職員が、時に、遊びに来られることもある。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 個々の職員が必要としていることに対する把握に努め、必要な研修への参加に努めている。ミーティングで、その時に必要なケア内容についての勉強会を行っている。		自発的な研修への参加希望が引き出せるようにしていきたい。
			(外部評価) 日々のケアの中での課題点や話したいことを決め、月1回のミーティング時に意見交換やケアの見直しを行なっておられる。外部研修は、勤務年数等を踏まえて受講をすすめておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 相互評価事業に参加し、職員が他ホームで勉強することによって自ホームのあり方、サービス向上に繋がっていると思う。近所の施設行事に参加するようにしている。他ホームと便りを交換し合うことで、自ホームの活動に取り入れたいことなども参考になっている。		もっと交流の機会を積極的に持ちたい。
			(外部評価) 県GH協議会の相互評価事業に参加し、他事業所の取り組み等を知ること、事業所を振り返る機会となっている。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 出来るだけストレスが少ないように、ホームの雰囲気、人間関係が大事にできるように努めている。		どうストレスを感じているのか、もっと把握に努め、改善していきたい。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 職員個々の状況を把握し、激励、ねぎらいの言葉をかけるようにしている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 利用までに、一緒にゆっくりお茶を飲む機会をもうけ、世間話の中から、不安や希望などを汲み取るようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 希望の利用にそえるように、利用者同席で話をする機会と、利用者と家族それぞれで話す機会をもうけるようにしている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 必要だと思われたり、今すぐ出来ることなどがあれば、話してみたり、他サービスの紹介をしている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 1,2度ホームにお茶を飲みに来てもらったりしている。家族の出来る範囲での応援(電話、面会、外泊など)をしていただいている。 (外部評価) 入居前には、事業所に見学に来ていただき、雰囲気を感じていただいたり、職員が自宅に出向き、関係を作りながら安心して入居いただけるようすすめておられる。		利用までに、いろんなスタッフと話をする機会を持ち、安心して利用できるようにしていきたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 日々の様子、表情の変化に気づき、さりげなく声をかけ、共に過ごしている実感を持ち、一緒に笑ったり、泣いたり、怒ったり、自然のままにしている。 (外部評価) 職員は、利用者に料理や調理方法、味付けを教えてもらうことがある。男性の職員は、利用者から家事を習うこともある。		もっとたくさんの感情を引き出せるようにしていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 日常的に家族との会話を大事にし、日々の生活などから親しみを持ってもらえるような温かい雰囲気を作り、いい家族関係が作れるようにしている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 利用者からと家族からの声をそれぞれ大事にし、出来ることがあれば掛け橋になれるように努力している。		具体的に何を必要としているか、何が出来るかを職員間で話し合いたい。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) ホームでの行事へ招待したり、電話、手紙などの通信手段を使って、馴染みの方との関係性が継続できるように努めている。		受身になってしまっている部分が多いので、時候の挨拶状などを利用者と共に送ってみたい。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) いい時もあれば悪い時もある。いい時には見守り、悪いときには職員がかけ橋になるようにしている。		利用者同士の関係性の中で発生する、ストレスをもっと軽減できるようにしたい。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 必要なときにはサービス終了後も相談できるようにしている。契約終了後も、家族が気軽に足を運んで来てくださったりしている。		健康状態の回復により、再入居される場合などはスムーズに支援することが出来る。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			利用者の思いを理解するため、よく話をしたり、表情から気持ちを汲み取り、実現できるように努めている。		努めているがもっと実現に向けての努力が必要だと思う。
			(外部評価)		
			職員は、利用者のお話にじっくりと耳を傾け、言葉を記録される等、思いを汲み取れるよう努力されている。困難な場合は、職員がご本人についての気付きを出し合い、ご家族にも相談しながら把握に努めておられる。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			最初のアセスメントだけでなく、ホームの生活の中で新しく発見されたことなど、職員間で気づきを共有し、今後のケアにつなげられるようにしている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			常に接している中で気づいたことを職員間で伝え合い、利用者がどういう状態であるのか、今どうすべきなのかを話し合い、ドクターとも連携を取りながら、現状の把握に努めている。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			毎月、日々出来る目標を立てて、チーム全体で取り組み、目標の出来、振り返りを行い、本人、家族からも意見を聞いて介護計画を作成している。		
			(外部評価)		
			ご本人の思いをもとに、ご本人、ご家族、医療関係者ともよく話し合い、介護計画を作成しておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			定期的にカンファレンスで話し合い、状態の変化に応じて、その都度、家族の意見、本人の希望、ドクターからの意見などをもとに、介護計画を作成している。		
			(外部評価)		
			計画は、3ヶ月毎に見直しを行っておられる。入居時には1ヶ月目で見直し、状態変化時には、その都度、見直しがされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			センター方式の24時間シートを活用し、日々の気づきを分かりやすく具体的に記録出来るようにしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			本人や家族が求める要望には、柔軟に対応しているが、それが多機能性を活かしているかどうかはわからない。		どうホームとしての多機能性を発揮できるか。
			(外部評価)		
			買い物、リハビリ、病院受診時の同行やご家族の結婚式出席時の送迎をされている。又、温泉のお好きな方が、家族風呂を楽しまれる際にも、職員が同行されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 合同避難訓練を行ったり、小中学生の職場体験などの受け入れにより、利用者自身がいろいろな方と接する機会を持ち、ふれあい、協力の第一歩に繋がっていると思う。		協働できる機会を増やしたい。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 現在、他サービスの利用は無いが、必要な時には、取り入れられるように支援していきたい。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 必要なアドバイスを頂いたり、協力体制を持って、地域包括支援センターとの連携を図っている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 希望のかかりつけ医との関係性が保たれるように支援し、新たに必要になった場合には、本人、家族の意向のもと、必要な医療機関に相談している。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 専門医の往診が月に2回、訪問看護が月に2回ある。その都度、相談、援助の体制を適切に行えるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 週に1回、協力医療機関から訪問していただき、日常の健康管理や相談、適切なアドバイスを頂いて援助が行えるようにしている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 日常的に協力医療機関との連携を図り、入院時にもまめに情報交換を行い、退院時にはスムーズに援助出来るようにしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 利用者の状態に合わせて、今後の方針などを、関係者すべてが協力し合い、本人、家族の意向に添えるように支援している。 (外部評価) 入居時、ご本人ご家族に看取りのあり方や重度化したときのことについて、事業所の指針を説明されている。その後は、状態変化に応じてその都度、話し合っておられ、全職員で共有し、取り組まれている。		ターミナルを含め、これからの人生を、どう過ごしていくのか、そのためにホームでの生活がどうできるのか、利用者、家族と十分相談し、全員が同じ方向性に向けて取り組めるように、もっと努めていきたい。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 終末期の過ごし方はいろいろあり、ホーム内で取り組めること、医療機関へ依頼することなどを明確にし、利用者、家族の思いに耳を傾け、必要なことを行えるようにしている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 関係者全ての方と、利用者の為に情報交換やアドバイス交換を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1.その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ね るような言葉かけや対応、記録等の個人情 報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価) 日々、一人一人を大切に思い、ケアにあたるように努 めている。トイレ誘導時に、大きな声をいつもどおり かけてしまいはっと思うことがあり、十分気を付けて いきたい。</p> <p>(外部評価)</p> <p>職員は、利用者に対する声のかけ方について、気を付 けておられる。</p>		<p>気づかない行動、何気ない行動が、利用者を傷つけて しまうかもしれないという気持ちを忘れずにケアにあ たっていきたい。</p>
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きか けたり、わかる力に合わせた説明を行い、 自分で決めたり納得しながら暮らせるよ うに支援をしている</p>	<p>(自己評価) 利用者それぞれがきめらることなどを見極め、自己決 定できる機会を持つようにコミュニケーションを図る ようにしている。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切に、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している</p>	<p>(自己評価) できる限り利用者の希望、暮らしのペースを大切に接 するようになっているが、忙しさを理由に、ゆったり出 来ないときがある。</p> <p>(外部評価) 利用者それぞれの起床時間に合わせて、朝食を摂れる ようにされている。又、外出や日々の過ごし方につい ても、ご本人の希望を優先して支援されている。</p>		<p>状況により、業務的になってしまわないように、ゆっ たりと話をしながら過ごせるようにしたい。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 外出できる方は、近所の美容室へ行き、外出が難しい方は、月1階訪問してくださる美容師の方をお願いしている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 出来ることはいっしょに行うようにし、楽しく出来ている。外食の計画を立てたり、お弁当を選んだり、季節ものの食材があるときには、とてもいきいきとされている。 (外部評価) 職員は、利用者と一緒に食事のメニューを考え、一緒に食事を作り、高齢の方には味見をお願いされていた。又、利用者が「今日のメニュー」をボードに書き込んでおられた。移動パン屋の訪問もあり、パンを買うことを楽しみにされている方もおられた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 健康状態にあわせて、代用品を使って手作りしたり、一緒に買物に行って個々におやつを選んだり、出来るだけ楽しめるようにしている。		病気により、塩分、糖分制限が必要な方も多く、それでも、我慢しすぎることがないように、楽しめる努力をしていきたい。
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) それぞれの排泄パターンを職員間で共有する為に、チェック表をもうけ、個々に対して、声かけ、服薬管理をすることにより出来る限りトイレで排泄できるように支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			入浴が好きな方は、入りたいときに入っている。入浴が嫌いな方などは、1日の流れを通して、本人が入ろうと思うタイミングがもてるように努力している。		
			(外部評価)		
			毎日入浴される方や外出の前に必ず入浴される方、家族風呂に出かける方もおられる。入浴を嫌がられる方には、タイミングをみながら声かけを工夫されたり準備をされている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			生活のリズムを壊すのに支障がない範囲では、その日の状態やその方のペースで休まれている。出来るだけ夜眠れるように、日中は活動するようにしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			それぞれにホームの中で、水をくみに行ったり、新聞を折ったり、献立を書いたりなどの役割を持つようにし、生活に参加出来るようにしている。気が向かない事もあるので、強制にならない範囲での役割分担に心掛けている。		
			(外部評価)		
			お好きな縫い物や手芸・パッチワークをされたり、ラジオを楽しまれる方は、朝一番に新聞を取りに行き、ラジオ番組のチェックをされる方もおられる。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			ここの能力に合わせて、お小遣いを持って、自分の買い物にでかけたり、食費などを持って近くの商店にお遣いに行ったりしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			天気の良い日はできるだけ外の空気が吸えるように散歩に出たり、近くの商店へ買物へ行ったり、出かけたときに出来るだけ足を止めずに一緒に出かけられるようにしている。		利用者が外へ行きたいと思ったときに、すぐに一緒に出れないときもある。出来るだけその時にすぐに対応出来るようにしていきたい。
			(外部評価)		
			近くの公園に散歩に出かけられたり、食材の買い物やおやつを買いに行かれることもある。時には、衣類のバーゲンを楽しみに出かけられることもある。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			個別に喫茶店や買い物に外出したり、野球を観に行ったり、歌を聴きに行ったりしている。出来る限り、好きな事が出来るように希望を聞いて実現出来るようにしている。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			電話をかけたいときに、かけている。ご家族やご友人で仕事で日中電話に出れないときなどは、事前に聞いておき、できるだけ、電話できる時間にかけるように支援している。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			訪問者がいてくださると言う事をとても大切に思っている。また来て頂けるように、あたたかい気持ちでお出迎えしている。バザーなどの行事にご招待し、訪問していただけるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 勉強会を行い、身体拘束についての理解を持っている。利用者の生命の危機を及ぼす事態以外での身体拘束は行っていない。できるだけ拘束しないケアが出来るように、日々のケアについて職員間で話し合っている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 鍵をかけず、出入りが分かるように開閉時のチャイムをつけたりして、事故防止に努めている。 (外部評価) 日中は、鍵をかけず、見守り支援がされている。手押し車に鈴を付けておられる方も見受けられた。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 常に利用者の方がどう過ごされているかは、声をかけたり、遠くから見守りを行うようにしている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 刃物などは、リビングや台所に置き、職員に声をかけて使用してもらうようにし、どこでも置かないようにしている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) リスクについての勉強会や、実際の訓練をおこなうことで、常に事故が起こりうることを忘れずにケアにあたることに努めている。事故報告書の作成により、今後の対応策なども職員間で共有し防止に取り組んでいる。		気をつけていても、転倒等の事故はなくなる。それでも、少しでも減らせる事が出来るように、原因を分析し、今後活かしていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 年2回以上は、緊急時の対応について勉強会を行い、うち一回は、ドクターに講話いただいて、急変、事故への対応に備えている。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年2回の避難訓練に、出来る限り全ての職員が出席し、実際に避難し、もしもに備えられるようにしている。避難訓練に、地元の消防団の方や地域の方に出席してもらえるように声をかけ、参加していただいている。 (外部評価) 災害時には地域の人達も駆けつけてくれるようになっている。事業所では、夜間時を想定して避難訓練を実施されており、地域の消防団、青年団、近所の人、職員、利用者が参加された。		町内の施設持ち回りで、合同の防災訓練を実施していく予定。 職員は、車いす利用者や2階からの避難等のむずかしさを感じておられる。今後も、訓練を重ねていきたいと話しておられた。すべての利用者が安全に避難できるよう、独自の取り組み等についても期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 利用者の状態の変化にあわせて、ご家族に説明と同意、今後の対応の仕方などを話し合い、文書にて同意を得るようにしている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 日々の申し送りにて、個々の体調を把握できるように心がけている。小さな変化に気づけるように、些細なことでもスタッフ同士が相談するようにしている。体調がおもわしくない場合はすぐにDrに相談している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬内容の変更があった場合なども情報を職員間で共有し、どうして服薬内容が変更になったのかも考慮できるようにしている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 便秘予防のために、水分摂取に心がけ、ホーム内での適度な運動、腹部マッサージなどをまめに行っている。寒い時期には、湯たんぽを使用して腸が動きやすいようにしている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 月に1回、歯科医師の往診を受け指導を仰いでいる。できている人いない人、出来ている時いない時がある。感染症予防にも繋がることを意識して、もっときちんと取り組めるようにしたい。		できていないときを少なくできるように、利用者へのかかわり方を、個々に徹底したい。
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量、水分量は記録に残し、体調の変化や身体状態にあわせて摂取量が適量確保されるように努力している。摂取量がどうしても少ない場合は、Drに相談して指示を仰いでいる。		
			(外部評価) ゼリーやかき氷、アイスクリーム等、好きなもので水分を摂ってもらうこともある。調査訪問時、麦茶のポットをテーブルに置き、自由に飲めるようにされていた。利用者の中には水分制限のある方もおられ、居室に1日の水分量の取り方をわかりやすく示しておられた。又、食事制限のある方にも他者と見た目が変わらないよう盛り付け等、工夫されていた。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 感染症についての勉強会を行い、感染症に対しての理解、対処方法、予防の為に消毒、清掃を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 台所用品は、H7α消毒、熱湯消毒を行い、衛生管理に努めている。食材は、長期の保存をせず、出来る限り新鮮なうちに調理するようにしている。生魚は、その日に新鮮な物を魚屋から調達するようにしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関には植物を置いたり、季節の小物を置いたりして、できるだけ清潔で暖かい雰囲気になるように心がけている。		もっと工夫できないか検討し、実現したい。
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) リビングは、季節ごとに装飾を変えて、季節感を味わえるように華やかにしている。浴室、トイレなどは清潔を大事に、不快な匂いがこもらないように努めている。廊下の電気を夕方になって付け忘れて、暗いときがある。 (外部評価) 玄関には桃の花が生けられており、居間には、利用者の手作り作品等が飾られていた。		もっと利用者の方もいっしょになって、共有空間作りができるようにしていきたい。
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 共有空間において、一人になれるスペース的場所はない。それぞれが自分の心地よい居場所は見つけており、気分によって、椅子に座ったり、ソファに座ったりしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			本人や家族が望んだ家具や電化製品など、入れられる方は入れている。必要に応じて、量販センターへ買物に行ったりして、居室作りをしている。		好きな花を飾ったり、個性のある居室作りを利用者の方と共に行っていききたい。
			(外部評価)		
			タンスやテレビ、仏壇等、ご本人の馴染みのものが持ち込まれていた。ご本人の希望で電話を引いておられる方もあった。スポーツの好きな方の居室には、新聞の切り抜きが貼ってあった。それぞれが過ごしやすく、落ち着ける居室となるよう、環境作りに取り組まれている。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			換気と温度調整に十分配慮し、一人一人の体温調節能力に応じた、室温を保てるようにしている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			浴室、トイレには手すりがあり、出来る限り不安なく動作が行えるようにしている。ベットは、個々の身体状態にあわせて、ベット策を利用したり、電動ギャッジを利用したりしている。廊下に手すりがないために、歩行が不安定な利用者の方は、一緒に歩くなどして転倒防止に努めている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			場所を間違えやすいトイレには、見やすく張り紙をし、スムーズに分かりやすく移動できるようにしている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			ベランダには季節の鉢植えを置いたり、夏場にはプランターで栽培できる野菜を植えたりして、一緒に楽しむようにしている。喫煙所にもしているため、個々がゆったりと外の空気を吸う場にもなっている。		狭い空間をもっと上手に活用していききたい。

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	話をする時間を再々持ち、できる限りの利用者の気持ち、希望を聴きだすことが出来ている。それを実現させれないときも、利用者と話をするを大事に思い、出来ないことについても理解し合えるようにしている。意向を実現するにはまだまだ努力が必要。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ②数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	出来る限りあわただしい生活にならないように、利用者のペースを大切にゆったりした雰囲気を大事にしている。時に、TVをワイワイ観たり、ボードゲームで遊んだり、トランプをしたり、いっしょに楽しめるようにしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	出来る限り、利用者の意思を大切に1日を過ごすようにしている。時に、朝寝坊する日もあれば、外に出たいときもあり、日常生活のリズムがおかしくならない範囲での対応は、臨機応変にしている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日々、笑いが出るような雰囲気作り、声かけを行っている。しかし、時々ホームでの生活に悩み、これからの自分に疑問を投げかけたりなどして、気分が沈まれたりしていることがある。そのときには出来るだけ気持ちが寄り添えるように、最後まで話を聞くようにしている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	個々に買物や外出、観戦など、希望にそえたときには、とてもいい表情を見せられている。一人ひとり実現に向けてはいるが、無理のない範囲でもう少しその機会を増やせるようにしていきたい。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	常に、協力医療機関に相談ができ、ドクターの指示で必要な対応をしている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人ひとりの変化にその都度対応していけるように、申し送り、職員間、家族、関係者と話し合いを徹底している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	日常的な家族とのコミュニケーションを大事にとり、無理なく、一番の援助者である家族とのかかわりが継続できるようにしてる。預けているからという気持ちで、話せていない苦情もあるかもしれない。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③たまに 4 ほとんどない	時々個々に来訪者がある。バザーなどの行事には友人や地域の方を招待し、参加していただいている。退居されたご家族が遊びに来てくださることもある。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② 1 大いに増えている ② 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	ホームの外で声をかけてくださったり、運営推進会議の中での話も、堅くまとまらず、いろいろな方向での世間話を含めた、充実した内容に少しずつなっている。
98	職員は、生き生きと働いている (自己評価) ② 1 ほぼ全ての職員が ② 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ストレスは大なり小なりあるが、職員間で助け合い、よりよいケアに向けての向上心を持ち、楽しい職場の雰囲気ができていると思う。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての利用者が ② 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	忙しい日もあり、利用者が思うようにことが運ばない日もあるが、仕方がないという理解を得るようにしている。万全ではないと思う。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての家族等が ② 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	不満の声はわからないが、家族からのこうして欲しいという希望に応えていくようにしている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

日常を大切に、あたりまえのことが当たり前出来る事をいっしょに喜び楽しみながら、日々の生活が送れるように取り組んでいます。すべての日常生活動作に介助が必要な方も多いたりますが、そのなかでも、全く何も出来ない方はいらっしゃいません。簡単な意思表示だったり、手を動かす事だったり、ちょっとした事を大切にできるようにスタッフの意識を統一して、ケアにあたる事が出来るように努めています。一日の時間を計画的に過ごすのではなく、利用者の方々がどのように過ごしたいのかを考え、外出なども、思い立った時に出来るようにしています。特にお天気のいい日は、外へ出る事が気持ちよく、ちょっと寄り道して、お茶やおやつを食べて帰ることがひそかな楽しみになっているようです。一日を大切に、みんなで楽しむ事を大切にしています。